

ぐりふあん letter

おひさまプロジェクトが 始まります！

皆様のご支援・ご協力をお願いします♡

左：下鴨幼稚園（左京区）

下：吉祥院こども園（南区）



暑中お見舞い申し上げます。

暑いので、帽子と水筒は忘れないでね。

(by くりちゃん・くりわん)

index

- ◆ 2024年度おひさまプロジェクト
おひさまプロジェクトがいよいよ始まります！ . . . 2
- ◆ 2024総会報告
新理事紹介 . . . 3
- ◆ 太陽ガスの小水力開発の現状 . . . 4
- ◆ 断熱が地球を救う . . . 5
- ◆ 2024年度 環境学習 . . . 6
- ◆ 会員ページ
事務局から
編集後記 . . . 7

おひさまプロジェクトが いよいよ始まります!!!

2024年度 おひさまプロジェクト

きょうとグリーンファンド 大西 啓子

2024年度の「再生可能エネルギー設備等導入補助事業補助金」の交付が決まり、市民再エネプロジェクト in 京都として進める2カ所のおひさまプロジェクトが、いよいよスタートします。

学校法人下鴨学園 下鴨幼稚園

ぐりふあんレターの46号で紹介しましたが、左京区、鴨川近くにある45名定員の小規模な幼稚園です。2020年におひさま発電所を設置された聖光幼稚園（幼稚園型認定こども園）の園長松山先生からのご紹介で、プロジェクトに応募されました。「聖光幼稚園の活動を見て、関心を持ちました。自然のエネルギーについて身近にある恵みを感じ、考えてもらえたらと思っています。」と園長の出口崇先生は申込書に書いてくださいました。

太陽光発電設備 12kW 規模、蓄電設備 7.04kWh、EMS（エネルギー管理システム）の設備を設置、工事は8月23日～26日に予定しています。寄付募集期間は2024年8月1日から2025年1月31日の半年間になりました。点灯式を11月中に計画していますので、この時期にみなさんにはお披露目できるはずですよ。

社会福祉法人ののほな会 吉祥院こども園

吉祥院こども園（保育所型認定こども園）は、1935年に開設、2017年に園舎全面建て替えをされました。親・子・孫三代にわたって入園される方もおられるとお聞きしました。

昨年、園長の井上先生からご連絡をいただき訪問しました。あらかたの説明をさせていただいたのですが、的確な質問をいろいろいただいたことを覚えています。きょうとグリーンファンドのホームページを丹念に見ていただいていたようです。

2019年におひさま発電所を設置された山科区の安朱保育園とは、同じ宗派でご存じだったとか、園舎建て替え後、落ち着いた今が設置のタイミングだとのお考えで、言葉の端々に意欲が感じられました。この上なくありがたい思いがしました。

設置申込書には「社会福祉法人が運営する保育施設であるからこそ、将来を担う子ども達に、社会環境の大切さを学習する上からも、環境を破壊する化石燃料や原子力エネルギーでなく、環境に優しい自然エネルギーの太陽光発電を設置したいと考えました。」と書いていただいています。

太陽光発電設備 15.48kW、蓄電設備 9.8kWh、EMSを設置予定、点灯式は11月8日（金）、寄付募集期間は2024年9月1日から12月31日、に決まりました。

プロジェクトは、設備工事に関する流れと、寄付キャンペーンや啓発活動・環境学習に関する流れが並行して進みます。設備が整い、寄付キャンペーンが終わり、プロジェクトの収支報告やパンフレットがまとまるのは、2025年の春になるでしょうが、その頃には子どもたちが通う幼稚園やこども園に、約27kWの太陽光発電が、せっせとクリーンな電気をつくっていることでしょう。

このように、今年度の2つのプロジェクトは、既に設置されたおひさま発電所から波及して、生まれたプロジェクトと言えます。私たちが常に抱えている大きな課題は、「新しい設置施設と出会うこと」なのですが、この点では今回の2つのプロジェクトは、理想的につながって展開したと思います。このようなつながりで、京都のおひさま発電所が広がれば、「市民がつくる再生可能エネルギー」がもっともっと増えていくはずですよ。

◆市民再エネプロジェクト in 京都

2021年から「市民再エネプロジェクト in 京都」として、おひさまプロジェクトを進めて来たのは下記の5つの参加団体でしたが、2024年から「認定NPO法人環境市民」が加わり6つの参加団体になりました。京都府地球温暖化防止府民会議、認定NPO法人気候ネットワーク、認定NPO法人環境市民、NPO法人エコネット近畿、一般社団法人市民エネルギー京都、認定NPO法人きょうとグリーンファンド

京都では、「市民と市民団体が協力して再エネ拡大をめざし、市民共同発電所を広げていく」という枠組みができ、プロジェクトを進める仲間と、おひさま発電所がつながりながら増えていくといいな、と思っています。

2024年総会は、オンライン参加もありの、いわゆるハイブリッドの形で開かれました。遠方からの参加が可能になり、これはコロナ対応の置き土産、と言えるでしょう。正会員35名のうち、14名の出席、Zoom3名、委任状4名、表決書4名の計25名の参加者でした。

2023年のおひさま発電所設置事業は、設置施設2カ所も決まり、京都府の認定を受けたところで補助金枠が埋まってしまい、残念ながら2023年度の設置を見送る結果となりました。このようなことは初めての経験で、正直がっかりしました。それだけ、設置を進めた団体が多かったということなのでしょう。

2023年度には、おひさま発電所の設置施設として想定している保育施設には、どの程度太陽光発電が設置されているのかを調査しました。(詳しくは2024.2発行のぐりふあんレターで報告)設置可能と思われる施設の約9割近くは「設置されていない」ということがわかり、ポテンシャルの高さを実感。また、おひさま発電所を設置した施設や、太陽光パネルのリサイクル工場の見学会を実施したところ、多くの参加者があり、おひさま発電所設置事業への関心の高さを改めて感じました。

実質2年余り設置事業が進まなかったことや、会員数が減少していったことなどで、2023年度は、財政的に非常に厳しい状況となりました。事務局スタッフがかなりの危機感を持って寄付や入会を呼びかけたこと、結果的に2カ所のおひさまプロジェクトが進まなかったことなどで、辛うじて資金ショートは免れました。

これからも、安定した運営費の確保は課題であり続けると考えられますし、おひさまプロジェクトのパートナーである設置施設との出会いは、大いに困難が予想されます。しかしながら、「地球沸騰化」といった文言が多用される今、再エネを市民参加で広げる私たちの活動は、参加する人、担う人を巻き込みながら、粘り強く進めなければ、と思うのです。

(きょうとグリーンファンド事務局)

新 理 事 紹 介

松田(橋本)直子 理事

こんにちは、新たに理事になりました松田(橋本)直子と申します。だいぶ前になりますが、学生時代にきょうとグリーンファンドの事務局で、少しだけお手伝いさせていただきました。当時は熱帯林の違法伐採が問題になっており、日本は世界中から木材を輸入し、一方で国内の森は荒廃し、海外のようにエネルギーとして森林資源を利活用できたらと思い、和田武先生のゼミに出入りなど、再生可能エネルギーの勉強をしました。

翌年に、偶然にも卒業論文で書いた同じテーマで京都府庁で政策研究会が始まり、鴨川の源流の北区雲ヶ畑地域で調査し、皆で薪く炭く KYOTO という NPO を立ち上げ、普及啓発や森づくり活動を行いました。いつか市民出資で公共の場にペレットストーブの設置ができればと夢を膨らませ、まだ実現できていません。その後、店舗や事務所にモニターでペレットストーブを設置し、そのひとつがウエダ本社さんの北側のビルとグリファンの事務所がある南側のビル1階のカフェ*です。そのカフェで京都市役所とペレットストーブユーザーを集めたイベントをし、市内35軒の調査報告とともに、どうしたらより普及するかを対話しました。

私は2006年に(株)Hibanaという会社を創業し、京都市役所近くで「京都ペレット町家ヒノコ」という店を12年間運営、昨年に代表を元スタッフの井澤(やまから屋)にバトンタッチしました。ヒノコは薪・炭・ペレット燃料や木工品を販売など、またお近くに来たら立ち寄ってください【10～18時・水曜日定休日】。今後は木育活動や新しいチャレンジをしていきたい、再生可能エネルギー社会へのシフトに歩みをとるとともにできると嬉しいです。お気軽にお声がけくださいね。

株式会社 Hibana URL: <http://www.hibana.co.jp/v> *現在は別店舗で、ペレットストーブは置いていません。インスタ、ぜひフォローください(^)/ https://www.instagram.com/hibana_kyoto/

水力発電は再生可能エネルギーの中で最も二酸化炭素排出量が少ない発電方法になります。それだけではなく安定的な電力を供給することができる重要な電源です。一度作ってしまえば、土木構造物は長期にわたって利用できることから、FIT 期間終了後も安価な電源として発電もしてくれるというまさに 3 拍子揃った電源なのです。

太陽ガスは 10 年以上前から地産地消の自然エネルギーを増やしていくことをめざし、特に水力発電所の開発に力を入れています。小売電気事業者にとっても魅力的な電源である水力発電所ですが、開発には時間がかかり 10 年かけてやっと 2 つの発電所が運開しています。一つ目は永吉川水力発電所。44.5kW の小さな発電所で、取水から放水までが 100m とコンパクトな施設です。年間約 70 世帯分の電気を発電してくれます。太陽ガスも出資する地域新電力のひおき地域エネルギー㈱が所有しています。もう一つが泊野川水力発電所で 2022 年 3 月末に運転を開始した 530kW の発電所です。こちらは年間約 650 世帯分の電気を発電してくれます。

この泊野川水力発電所は太陽ガスも含む 4 社が出資をして作ったみずいろ電力㈱の発電所で、発電開始から 2 年が経っています。1 年目の実績は「スーパー優」でした。2 年目は「可」。どうしてかということ想定発電量に若干ですが届かなかったためです。原因は 2 年目の雨量が平年より 2 割程少なかったため、泊野川の水量が少なかったからです。ただ 2 割も雨量が少なかったのにも関わらず、ほぼ想定発電量に近い数字をたたき出してくれたので「優」をあげたいくらいです。

この泊野川水力発電所の建設費に、鹿児島県や県内の金融機関が出資する「かごしまグリーンファンド」から 1 億 2 千万円を出してもらっています。みずいろ電力はこの 1 億 2 千万円の返済の原資として「市民ファンド」で 1 億円をこの夏（令和 6 年）に集める予定です。7 月は地元の鹿児島県民を対象に先行受付をし、その後全国からの受付をします。なぜ市民ファンドを活用するか？という、自然エネルギー事業に一般の人たちが参加できるからです。

地球温暖化対策をしたい、人と自然にやさしいエネルギー社会を創っていきたくとも、それを実行に移すには無数の壁があるのですが、市民ファンドに出資することによって、一般人でもそういった取り組みを支援できます。また出資したお金は利息を付けて返す計画になっているため、地球の資源であり、地域の資源である水を利用するエネルギー事業へ多数の人が参加してくれることにより、利益を分配できます。私たちの身近な重要なインフラ事業に私たち市民が関わり、その利益を享受できる仕組みです。自然エネルギー事業をする会社側からすると、市民ファンドによる資金調達が可能となり、銀行融資では足りない部分を補うことが可能になります。そして宣伝効果も期待できます。

このみずいろ電力では、上記 2 つの発電所の他に農業施設を利用した水力発電所の事業化の取組が進行中です。来年度から工事に着工できればいいなと思っています。

この他にも進行中の計画があります。今話題の脱炭素先行地域に太陽ガス本社のある日置市が採択されていますが、その共同提案者に太陽ガスが名を連ねています。その中で日置市内に低落差でも発電が可能ならせん水車やカプラン水車を導入しようと目下奮闘中です。

地球沸騰化の時代に突入していることは身をもって実感できる今、地球温暖化対策はまさに待ったなしです。人と地球にやさしい、安定電源である水力発電所をどんどん増やしていきたいと思っていますので、引き続きご支援ご協力の程よろしくお願ひします。



泊野川水力発電所建屋

泊野川水力発電所取水口と山桜



6月だというのに真夏日が続いている。猛暑日も当たり前になってきた。サウジアラビアではハッジの巡礼者1300名が熱中症で亡くなった。異常気象が常態化している。まさに地球沸騰化だが、日本の脱炭素化の動きは鈍い。先のCOP28で「再エネの3倍」「エネルギー効率の2倍」への拡大が確認された。今日は「エネルギー効率」つまり「省エネ」について考えてみたい。

「自然エネルギー100%社会」は、現在のエネルギー消費量を省エネで半減しないと実現できない。これは節電で実現できる数字ではない。ではどうするのか。日本の省エネは「ガマンの省エネ」だった。「ガマン」ではなく具体的にエネルギーを削減できる方法が求められている。それは建物の断熱と太陽光発電の設置、そして高効率機器の導入だ。

日本の建物はほとんど断熱されていないと言って良い。他の「先進諸国」と比べて著しく劣っている。一戸建てでは、冬は寒く部屋の中は4~5度というのが当たり前となっている。石油ファンヒーターなどでがまん燃やさないと寒くてたまらない。夏はエアコンがないと熱中症になる状態である。エアコンを付けても断熱されていないので壁や窓からどんどん冷気が逃げていく。ザルで水をすくっている状態だ。つまりエネルギーを非効率に使い、大気中に捨てていると言っても過言ではない。

日本の住宅は「夏を旨とすべし」という常識が支配してきた。「窓を開けて通風」が当たり前だった。50年前ならまだそれも可能だったかもしれないが、現在はとても成り立たない。地球温暖化の進行と共にエアコンなしでは生活できなくなっている。

エネルギーの消費量を抑えるためには家の断熱が重要だ。壁、天井、床そして開口部つまり窓、引違いサッシ部などの断熱である。新築なら全て対応できるが、既築住宅ではことは簡単ではない。

既築住宅でまず対策すべきは熱の最大の出入り口となる窓の対策だ。最も手軽で費用も安いのは内窓である。二度窓を開けると言う「鬱陶しさ」はあるが、効果はてきめん、夏も冬も外気の影響が抑えられ、空調の効果があ

がり、光熱費が低下するという。現在、国の補助金「先進的窓リノベ2024事業」（予算1350億円）があり、約半額弱の補助金ができる。内窓は断熱リホームの中で最も手軽で費用対効果に優れているものだ。

私事で恐縮だが、窓リノベ補助金があることを知り、6月に早速この補助金を活用した。我が家はマンションで窓リノベしかできなかったのだが、工事は半日と意外に簡単にできた。そもそも「先進国」でアルミサッシなのは日本だけだと初めて知った。アルミは放熱性が高い。今回は樹脂サッシの真空ペアガラスにした。引き戸サッシ2カ所、窓2カ所で費用は48万円、補助金21万円、自己負担27万円であった。

窓の次にリノベするとしたら床、天井、壁そして気密性の確保になる。断熱するレベルをどうするかだが、参考になるのは国の基準「断熱性能基準」（以下断熱等級）である。2022年に新設された基準は等級1~7まである。日本では「ゼロエネルギーハウス=ZEH（ゼッチ）」として販売されてる住宅がある。ZEHは等級5以上の住宅だ。断熱性能を表す数値としてUA値（外皮平均熱貫流率：W/m²・K）がある。UA値は小さいほど住宅の断熱性能が高くなる。等級5でUA値0.6である。韓国や欧米ではUA値が0.5~0.3であり、この数値が最低基準として法律で決められ、義務化されている。日本が如何に遅れているかが解るであろう。

日本の再エネの比率はまだ約22%である。エネルギー自給率は13%。化石燃料輸入に年間33兆円（2022年）も使っている。さらにガソリン補助金には6兆円以上投入されてきた。再エネ拡大は当然だが、建物の断熱を強化すれば住宅分野の消費エネルギーを30~40%程度減らすのはそんな難しいことではない。輸入する化石燃料を大幅に減らすことが可能だ。再エネと断熱に国の予算を使うのは未来への投資として大いに意味のあることである。今後は断熱にも目を向けて欲しい。

参考引用文献

：『断熱』が日本を救う」高橋真樹著、集英社新書



2024年度 環境学習



おひさま発電所が設置されてから、20年以上経った園も環境学習に取り組んでくださっています。当然、おひさま発電所設置の際の、ある種の高揚感をご存じない先生方も、多くなってきました。もちろん子どもたちはまだ生まれていなかったはず。毎回、プログラム実施の際には、グリーンファンドのスタッフが2名行くのですが、子どもたちは「あのおばちゃんたち、だれエ?」「きょうとグリーンファンドって何?」みたいな顔をしています。(ちょっと寂しい...)そこで、環境腹話術のプログラムに、きょうとグリーンファンドのパペット「ぐりにゃん」と「ぐりわん」がデビューしたというわけです。



- ぐりにゃん：「ぼくたち、おひさま発電所をつくった時、お手伝いしたんだよ～」
- ぐりわん：「たくさんの方が、力を合わせて、つくったんだよね」
- 2匹で?：「これからぼくたち、もっともっとたくさん、おひさま発電所をつくりに行ってくるね。バイバーイ」

といった具合です。掛け合いやら、パペットの動かし方は、まだまだですが、子どもたちには大人気。充分、グリーンファンドの存在をアピールしてもらえています。腹話術師の畠山さんにアドバイスをいただきながら、「ぐりにゃん」、「ぐりわん」の活躍を、私たちも楽しみにしていきたいと思います。



園の先生方の振り返りシートからの抜粋

- ◆腹話術を見た後、お部屋で自分たちにできることを一緒に考えてみました。子どもたちからは、「車をできるだけ使わないようにする」「給食をたくさん食べて残す量を減らす」「おでかけの時は部屋の電気を消す」「幼稚園や家で使う紙も大切に使う」など考えて伝えてくれました。子どもたちと一緒に考える良い機会となりました。
- ◆地球温暖化という大きな問題で色々なことが変化してきているので、子どもたちにわかりやすくお話してもらえて良かったです。
- ◆水の出しすぎについて、日頃から声はかけていましたが。ただ「もったいないから」ではなく、今日の腹話術で「CO₂いっぱいになるよ」など、子ども同士で気をつけ合う姿がみられました。
- ◆手をふくペーパータオルを何枚も使う子がいましたが、一枚だけにし、小さく丸めて「こうだよね?」と確認する子がいました!



これまで、紙芝居「おひさまありがとう!」で活躍していた「ぐりにゃん・ぐりわん」がシンちゃんと一緒に腹話術デビュー!



ある保育園では、ペーパータオルの代わりに一回ずつ小さく切ったタオルを使い、使い終わったら、洗濯して再度使うことで、紙ごみが激減したそうです。また、ティッシュペーパーを半分のサイズに切って使っている園もあります。

職員研修(自然観察会)に参加した、きょうとグリーンファンドスタッフの感想

- ◆園の軒下には、ゴーヤが植えられ、育っていました。毎年ちゃんと育てておられるとか。毎日、発電表示盤を見て、どこまで光っているか、グラフにつけることもずっと継続されていました。日常の保育に私たちがお伝えしたことを続けて取り込んでおられることに、感動。園長先生が変わられても伝わっていることは素晴らしいと思いました。
- ◆エコすごろくをよく利用をしてくださっているので、園オリジナルのすごろくを作るワークショップをお勧めしてきました。

2024年度 環境学習予定 ★見学者を募集しています。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

- ◆自然観察会 ・9月28日(土) ・11月1日(金) ・11月9日(土)

(きょうとグリーンファンド事務局)

昨年度は、新規会員が、10名(正会員1名、団体会員2団体、賛助会員 7名)増えました。その中から重本さんに寄稿していただきました。

・・・重本 光幸さん

美山町にエコライフをテーマに単身で移り住み、15年になりました。定年退職を機に、自然の中で自給自足の暮らしをめざし、食料からエネルギー・水も含めて可能な限り賄おうと楽しんでいます。

家の建設にあたっては、CO₂削減の観点から京都府産の木材にこだわり、工事も地元の大工さんに依頼しました。

食料については、我家の食料基地としての位置づけもあります。

エネルギーは、ソーラーパネルと小さいながらバッテリーを導入して、家の電力と自動車への充電も行っています。

水は、上下水道に加え、中水道を敷設し、トイレの洗浄、洗濯や庭への散水に使っています。中水道の水源は、雨水をろ過して2㎡の地下タンクに貯水し、それをポンプアップして利用しています。

ソーラーパネルは、林敏秋さんに設置していただきました。

雨水システムは、京都雨水の会の皆さんの知恵を借りました。雨水タンクの埋設は業者さんをお願いしましたが、取水からタンクへのろ過システムの工事は、自分で行いました。浄化の仕組み等は、植月千砂さんのホームページ、「アースガーデン in 美山」に紹介されていますのでご覧ください。いずれも完全ではなく、さらなる改善が・必要なあとと思っています。ただ、年を重ねる毎に、運転能力の低下を意識する様になっています。そして少しずつ認知能力も・しかしながら、自然と対話しながらの暮らしは、環境の良さとも相まって健康作りにも一役買っているのではないかと考えています。

地方における、特に中山間地の人口減少と高齢化は日を追って感じるようになり、加えて地球温暖化(沸騰化)が進んでいる状況の中で、百姓仕事にもかなりの影響が出ていることを感じます。豪雨や渇水、生態系の変化等自然災害の多発と思える状況、また原発の危険性を省みないこと、当面お金になれば良いとする自然破壊を伴う乱開発等、枚挙にいとまがありません。

そんなつのる思いが、これまでを支えて来ましたし、それらが、きょうとグリーンファンドとのかかわりにつながっています。

力はありませんが、日々頑張りたいと思います。

事務局から

◆メーリングリスト「きょうとグリーンファンド応援団」登録のお願い

きょうとグリーンファンドでは情報交換用のメーリングリスト「きょうとグリーンファンド応援団」を作っています。イベントの案内やお知らせなどを流します。登録していただくと自分が案内したいイベントなどの情報も流すことができます。登録を希望される方は事務局までお名前とメールアドレスをメールでお知らせください。

◆ Facebook



◆ Instagram



◆ YouTube

きょうとグリーンファンド
・ぐりふあんチャンネル



いいね!シェアを
お願いします。

編集後記

・各種選挙が目白押し。環境政策、温暖化が目玉の公約、なんてことはお目にかかれぬ。候補者は、票にならないと思っているのか、反応する有権者が、少ないのか。まさか、匙投げているんじゃないよね。(K.O)

・家の外壁工事をしました。養生のシートが張り巡らされて、約1か月「うっとしい〜」と思っていたのですが、外された途端、暑くなりました。ひそかに遮熱されていたんですね。(Y.F)

・最近、故郷の鳴門のワカメが、前ほど美味しくなくなって来ました。海水温が上がったせいなのか、海流のせいなのか。(T.Y)

・コロナ禍から、スーパーでの買い物は、セルフレジを利用。売り場で商品を登録しながらの方法もあり、最後は、キャッシュレスで会計を済ませる。近頃は、レシートをデータで受取ることも…スマホが必需品です。(Y.M)

・地下水が85%という城陽市の水道水は格別おいしいらしい。浄水も自然濾過方式で経費がほとんどかからない。それを壊す「ウォーターPPP」なる民営化が強行されようとしている。(T.H)

・今号からぐりふあんレターをリニューアル。ペーパーレスと郵送コスト削減のために出来るだけメール添付でお送りすることになりました。HPにも2000年発行の準備号から掲載されていますので、ぜひご覧ください。(S.K)

ぐりふぁん日誌

- | | |
|--|---|
| 2/21 おひさま発電所見学会／上鳥羽北部いきセン | 6/2 2024年総会 |
| 3/6 太陽光パネルリサイクル工場見学会 | 6/8 職員研修(自然観察会)／認定こども園 みょうりんえん |
| 3/15 第147回理事会 | 6/10 自然観察会(上鳥羽北部いきセン)／梅小路公園 |
| 3/19 鏡山保育園訪問 | 6/22 自然エネルギー学校・京都2024 第1回 |
| 3/26 上鳥羽北部いきセン・エコまちくらぶ運営会議
／市民活動総合センター | 6/29 京都地球温暖化防止府民会議 総会出席 |
| 4/15 上鳥羽北部いきセン・エコまちくらぶ「児童館エコの日」
参加／中唐戸児童館 | 7/5 下鴨幼稚園おひさまプロジェクト打合せ
／下鴨幼稚園 |
| 4/23 第148回理事会 | 7/4 JICA訪日研修「ASEANのモデルとなる低炭素社会実現
に向けた人材育成とネットワーク拠点の機能強化プロジ
ェクト」視察／上鳥羽北部いきセン |
| 5/7 2023年度監査
自然エネルギー学校・京都2024検討会議／オンライン | 環境腹話術／陵ヶ岡こども園 |
| 5/16 環境腹話術／聖光幼稚園 | 7/5 吉祥院こども園おひさまプロジェクト打合せ
／吉祥院こども園 |
| 5/17 自然観察会(おおやけこども園)／京都御苑 | 7/17 環境腹話術／つくし保育園 |
| 5/22 環境腹話術／大宮保育園 | 7/18 第149回理事会 |
| 5/30 環境腹話術／認定こども園 みょうりんえん | 7/20 自然エネルギー学校・京都2024 第2回 |
| 6/1 職員研修(自然観察会)／かすかのえんこども園 | |

□ 寄付のお願い

きょうとグリーンファンドの活動はみなさまの寄付によってささえられています。おひさま基金へのご支援をお願いします。

◆ ゆうちよ銀行

ゆうちよ銀行振替口座番号：00930-6-157817 加入者名：きょうとグリーンファンド

◆ オンライン寄付サイト Give One

クレジットカードによる寄付ができます。

「わたしのまちに太陽光発電～寄付で自然エネルギー」



◆ ソフトバンクつながる募金



携帯電話の利用料金の支払いと一緒に継続的な寄付ができるだけでなく、ソフトバンクユーザー以外の方でもクレジットカードによる寄付ができます。



★詳細はきょうとグリーンファンド HP 「入会・寄付のご案内」をご覧ください。 <http://www.kyoto-gf.org/donate/donate.html>

★2020年4月1日付で京都市から認定NPO法人として再認定されました。認定NPO法人への寄付は、税法上の特別措置の対象になります。

会員数

正会員 36 賛助会員 30
法人会員 6 2024/7 現在

認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)



〒600-8191 京都市下京区五条高倉角堺町21 事務機のウエダビル206

TEL/FAX ; 075-352-9150 E-mail ; info@kyoto-gf.org

URL ; <http://www.kyoto-gf.org> (火～金 13:00～16:00)

